インフォメーションネットワークグループ機関誌［イング］

ING

Information Network Group

vol.26
2022 Spring

リーダーの肖像

故郷・群馬の輝く未来へ、いつも真っすぐ！

群馬県知事 山本 一太 氏

The wheels of technology spin incessantly
Architecture that strives to fulfill the
promise of mankind and nature

【テクノロジーは車輪のように絶え間なく回る　建築は人類と自然の期待を満たそうとしている】

輝き Interview
「一期一会」を大切に、人の「心根」を伝えたい。
RKB毎日放送 アナウンサー **池尻 和佳子** 氏

View From the Top
地域のお客さまのために、飽くなきチャレンジを。
京都中央信用金庫 理事長 **白波瀬 誠** 氏

Health Information
病院から見たコロナ感染の対策と予防
医療法人社団美心会 黒沢病院 理事長 **黒澤 功** 氏

インフォメーションネットワークグループ機関誌
ING［イング］2022 vol. 26 Spring

Contents

02 リーダーの肖像
群馬県知事 山本 一太氏
故郷・群馬の輝く未来へ、いつも真っすぐ！

08 輝き Interview
RKB毎日放送 アナウンサー 池尻 和佳子氏
「一期一会」を大切に、人の「心根」を伝えたい。

12 View From the Top
京都中央信用金庫 理事長 白波瀬 誠氏
地域のお客さまのために、飽くなきチャレンジを。

18 Health Information
医療法人社団美心会 黒沢病院 理事長 黒澤 功氏
病院から見たコロナ感染の対策と予防

22 HOT BREAK
ジャパンエースゴルフ倶楽部 支配人 川島 幸雄氏
関西指折りの名門コースで、至福の時間を味わう

24 Asian Now
協同組合経営情報サービス 国際事業部
在留資格「特定技能」について

28 企業探訪
株式会社ホットタブ 株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット
代表取締役 小星 重治氏
「人をたてれば蔵がたつ」で起業

32 国際事件記者の目
ジャーナリスト 中島 健一郎氏
なんか変だぞ 日本のメディア

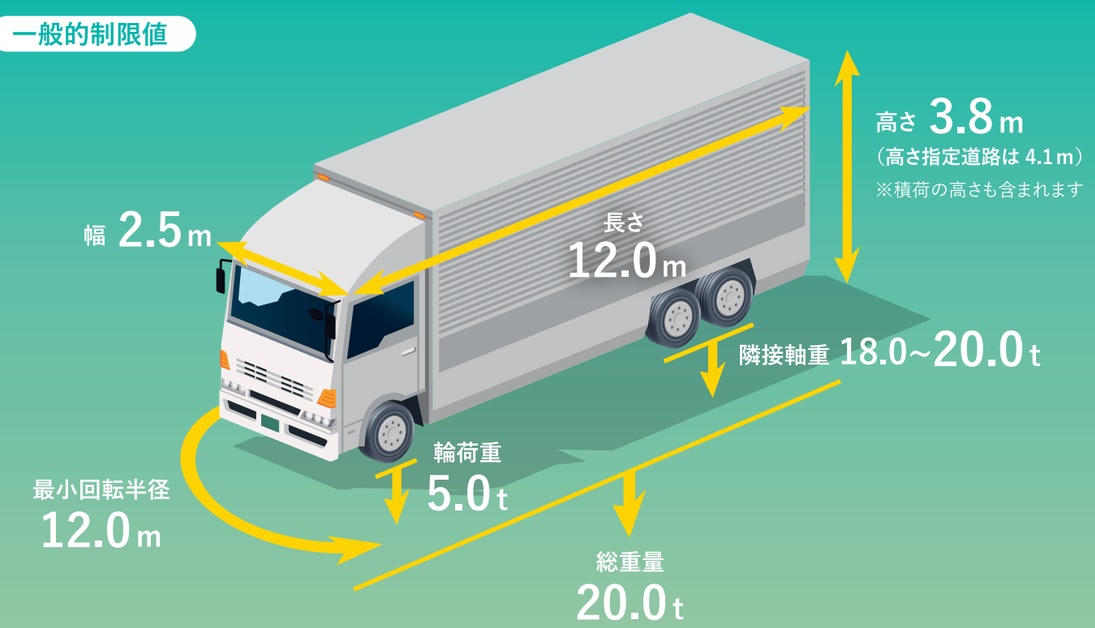
他：組合広告　表4：カネイ一言製茶株式会社

ING 2022年 vol. 26　発行：一般社団法人国際情報普及協会　〒105-0004　東京都港区新橋5-12-1 露月町ビル4階　TEL：03-3434-6203
編集長：小松 宣俊　製作・編集部：岩崎 亮太郎・吉田 安希　デザイン：株式会社プランニング・ロケッツ　表紙の英文と訳：本山 清治　印刷：株式会社ダイム　定価：400円（税別）
※本紙の掲載記事の無断転載を禁じます。　※掲載内容・広告のお問い合わせは、編集部まで　※「ING」は、環境に配慮した無塩素漂白で製造された用紙を使用しています。

車両制限令を守りましょう!!

道路は、一定の構造基準によって作られており、構造の保全、交通の危険防止のため、
通行する車両の大きさや重さの最高限度（一般的制限値）が定められています。
「**車両制限令違反**」とは、車両全体の重量が一般的制限値又は許可された限度値を超過することをいいます。

一般的制限値



もし車両制限令に違反してしまったら…

車両制限令に違反をした場合、道路管理会社から「措置命令書」もしくは「指導警告書」が、運転手へ交付されます。交付された場合は、速やかに会社へ報告して下さい。報告をしないままにしておくと、点数が累積され、会社の方へ「ペナルティ（割引停止等）」が発生する可能性があります。

会社へ報告する

会社が組合へ報告し、適切な処置方法を検討

会社へ報告しない

累積点数が増え、
会社の方へ
ペナルティが発生

故郷・群馬の輝く未来へ、いつも真っすぐ！

4期にわたり20年以上務め、大臣などを歴任した参議院議員から群馬県知事に転身。それから2年半、生まれ故郷をもっと元気にするために、そして群馬県から日本を変えていくために、県庁職員と一つになって先進的な取り組みを続けてきた山本一太知事。上州人としての誇りを胸に、自ら「ポテンシャル・ナンバーワン」と謳うふるさとの魅力や、群馬県が目指す未来などについてお話を伺いました。 ※インタビュー内容は2022年2月4日時点のものです。

群馬県知事
山本一太（やまもと いちた）氏

【プロフィール】
1958年群馬県生まれ　中央大学法学部卒業　米国ジョージタウン大学大学院国際政治学修士課程（MSFS）修了
1986年国際協力事業団（JICA）勤務　1991年国連開発計画（UNDP）ニューヨーク本部出向
1995年参議院議員当選（以後4回連続当選）　2012年内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、科学技術政策、宇宙政策）
2019年群馬県知事　趣味はスキーと音楽活動　https://www.pref.gunma.jp

［聞き手］本誌編集長 小松 宣俊

毎日が全力疾走

―群馬県知事に就任されて2年半が経過しました。その大半がコロナ禍と重なりますね。

山本　はい。まったくの想定外の事態が起こり、その対策に忙殺されてきた感がありますが、その中で全国に先駆けて実現させたことが幾つもあるんです。例えば群馬県ではぐんまワクチン手帳を日本で最初に導入しました。県営ワクチン接種センターの運営も全国で最も早くスタートさせ、昨年10月末時点の20代から40代にかけてのワクチン接種率は群馬県が全国でトップでした。

ぐんまワクチン手帳

―群馬県は先手、先手を打ってきたと。

山本　知事として目指しているのは、独自の新しいモデルを構築してそれを発信することで県民生活を豊かにするとともに、ここ群馬県から日本を変えていくことなんです。図らずもコロナ禍で、その一歩を踏み出せたのではないかと考えています。

これまで群馬県はどちらかというと、東京など周囲の動きを見ながら慎重に行動するようなところがあったんですよね。しかし、この2年半の間に県庁職員の多くが新しいことに臆せずチャレンジしてくれるようになってきました。コロナ禍という危機的状況の中で、群馬県は確実に変わりつつあるという手応えを感じています。現在も、県庁職員と一体となって危機克服のために全力を尽くしているところです。

―寝る間もないんじゃないですか。

山本　でも日々満足感というか、この仕事の醍醐味を感じています。県庁職員と志を一つにして、県民の方のためになることを一つでも多く実現する。この姿勢を絶対忘れるなと自らにいい聞かせ、毎日全力疾走しているような感じです。

―ところでコロナ禍の影響もあり、群馬県に移住する人が増えているそうですが。実はわたしも最近群馬県に住み始めたんです。

山本　そうなんですか。ありがとうございます。NPO法人のふるさと回帰支援センターが毎年発表している「移住希望地域ランキング」の2020年版で、群馬県は10位でした。次の2021年版ではもっと上がると思いますよ。

おっしゃる通り、コロナ禍で地方の価値の再定義が進み、群馬県の場合は「密」ではなく「疎」の価値が見直されています。わたしたちはこれを「快疎」と呼んでいるのですが、今後もこの価値をどんどんアピールしていきたいですね。もちろん、これ以外にも群馬県にはさまざまな価値があります。まず、東京に近い。

―新幹線なら1時間以内ですもんね。

山本　ええ。在来線でも1時間半以内でアクセスできる距離にあるのに、都会では決して体験できない豊かな自然環境に恵まれていて、しかも物価が安い。実は群馬県の物価は全国で二番目ぐらいに安いんです。また、おいしい農畜産物が多彩。こんなに魅力的な県はほかにありませんよ。

ぐんまのいちご「やよいひめ」

―リモートワークの拠点としても、いうことなしですよね。

山本　はい。知事に就任後、コロナ禍もあってこれまでの移住政策を少し見直しました。従来はエコ派の人びと、つまり群馬県の美しい自然を愛し、山村で静かに暮らしたいという方たちを主なターゲットにしていました。そこにリモートワークの拠点として群馬県に暮らしながら、東京のオフィスでもバリバリ仕事をこなすような職種の方たち、例えばクリエイターやプログラマーのような方たちも入れたんです。その成果が「移住希望地域ランキング」の結果に現れているのだと思います。

コロナ禍をきっかけにリモートワークを経験した方の多くが実感されたと思いますが、人間はヴァーチャルの世界だけでは生きられないんですよね。やはり定期的に、リアルの世界に身を置かないと生きているという実感がわいてこない。群馬県なら東京のオフィスというリアルの世界と鉄道でも車でも気軽に行き来できるので、わが県が有するリモート拠点としてのポテンシャルは相当高いと思います。

―ニューノーマル社会にぴったりだと。

山本　このままデジタル化が進むと、極端にいえばいつ、どこにいても仕事はできますからね。事実、最近大企業でもリモートワークを前提とした雇用契約を導入するところが増えているんですよ。そのような流れに、群馬県は最適のところだと思います。もう一度いいますが、東京に近くて自然が豊か、そして農畜産物がおいしくて物価も安い。こんなところは群馬県しかありません。

リトリートの聖地

―現在は新型コロナウイルス対策で大変と思いますが、群馬県の将来像はどんな姿を思い描いているのですか。

山本　昨年策定した『新・群馬県総合計画』に20年後の目指す姿としてこのように書きました。「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会」。このビジョンに群馬県が目指す未来が集約されています。その実現は言葉でいうほど簡単ではありませんが、少しでも理想に近づくべく努力しているところです。

―いい方を変えれば多文化共生社会の実現ですね。

山本　おっしゃる通りです。具体的な近未来の姿としては、つぎの二つのイメージを発信していこうと考えています。一つは移住政策の話と共通する部分がありますが、「リトリートの聖地」です。リトリートは世界的に注目されているライフスタイルで、分かりやすくいうと「都会の喧騒から離れて心と体を癒やす」ということです。東京はもとより日本各地の人に群馬県に来ていただき、ぜひここで免疫力や自然治癒力を十分に高めて、心身ともに元気になって地元に帰っていただきたい。

草津温泉湯畑

―草津温泉をはじめいい温泉もありますしね。

山本　はい。群馬県の最大のキラーコンテンツが温泉であり、その質は日本一と自負しています。ほかの都道府県の有名な温泉どころと比べても、群馬県が負けているとはまったく思っていませんから。あとはスノースポーツやハイキングなどのレジャーを楽しんだり、豊富な農畜産物を満喫して元気になって帰っていただくと。もちろん、ワーケーション感覚で仕事に精を出していただいても結構です。このような取り組みはアフターコロナ時代の観光戦略の核になると思いますし、インバウンドが復活すれば海外から人を引きつけるのにも有効だと考えています。

―それは面白そうですね。もう一つのイメージは。

山本　「レジリエンスの拠点」です。レジリエンスとは自然災害などからの回復を意味し、群馬県がその拠点となることを目指しています。なぜかというと、幸いにも群馬県は自然災害がとても少ないところだからです。地震については震度4以上の揺れは関東で最も少なく、水害や土砂災害による被害もかなり少ない。

―そうなんですか。それは知らなかったですね。

山本　このような利点を活かし、例えば万一首都直下地震が発生したとき、群馬県がその復旧や医療の拠点としてさまざまな行動を取れるようにしておきたいと考えています。また先ほどお話ししたように、群馬県のワクチン接種率が高かったのは全国最大規模の接種センターを運営していたからです。この経験を活かし、今後はパンデミックのレジリエンス拠点としても存在感を高められるようにしていきたいと考えています。

―ところで昨年放送されたテレビアニメの『ぐんまちゃん』が好評だったそうですね。

山本　これは群馬テレビさんやテレビ神奈川さんなど関東のローカル局6局と関西のローカル局2局とのコラボレーションにより実現したもので、これだけで全国の世帯の6割ぐらいはカバーできるんです。実際にそれなりの反響があって、13回の放送のうち10回以上『ぐんまちゃん』がツイッターのトレンド入りしました。自治体がつくったアニメがこういったランキングに入ることはほとんどないので、画期的だったと思います。わたしは自称「アニメ研究家」で、自民党のクールジャパン戦略推進特命委員長も担当したことがあるので感激はひとしおでした。

アニメ「ぐんまちゃん」

―群馬県の知名度アップにかなり貢献しましたね。

山本　くまモンやふなっしーまで行くかどうかは分かりませんが、群馬県のキラーコンテンツになる可能性は十分にあると思います。

現場のプレイヤー

―20年以上参議院議員を務められましたが、なぜ知事に転身されたのですか。

山本　国会議員時代は、それはそれでやりがいを強く感じていました。大臣も経験し、党の幹部も任され、外交や安全保障などいろいろな面で政策に関われたのは得難い体験だったと思います。しかし、国会議員はひと言でいうとルールメーカーに過ぎないんですよね、法律をつくるという面で。もちろん、法律づくりにはものすごく大きな意味がありますが。

―国の基本ですものね。

山本　ええ。でも、あくまでもルールメーカーに過ぎない国会議員は、現場のプレイヤーではないんです。自分が先頭に立って組織を動かし、自分が決断することで人びとの暮らしをよくするといったことに直接関われないんですよ。一方、県知事はまさに現場のプレイヤーであり、その仕事は県民の方の幸福度にダイレクトにつながるわけで、これ以上やりがいのある仕事はほかにないと思ったんです。しかも群馬県は自分の生まれ故郷です。幼稚園から高校まで県内で過ごし、上州人としてのアイデンティティも強いことから、わが群馬県をもっとよくするためにそのトップになろうと決めました。

知事職の醍醐味は、おそらくどんな大臣になっても得られないと思っていたので、知事選に出るときのキャッチコピーを「群馬県知事はどんな重要閣僚よりも価値がある」といった内容のものにしました。これは各方面で波紋を呼びましたが（笑）。大臣は企業の人事にたとえると基本的に部長ですからね。一方県知事はCEOであり、その責任は大臣よりはるかに重いし、その分達成感もかなり大きい。

―自分をいちばん突き動かしたのは「このままでは群馬県は時代の流れから完全に取り残される」という危機感だったとか。

山本　首都圏に位置している、東京に近い、そんな地理的なメリットに甘えていたんですね。普通にしていればそこそこやっていけたので、一歩踏み出すということをしてこなかったんです。よくいえば中庸で、ちょっと前まではそのような姿勢でオーケーだったのですが、これからは時代の流れを先読みして他に先駆けていろいろな手を打っていかないと必ずジリ貧になる。そういう危機感が知事選に自分を駆り立てたということはありましたね。

―国会議員という経歴はセールスポイントになりましたか。

山本　20年以上国政に携わっていたので、国の政策決定のプロセスをよく分かっているし、人脈もある。それまでの群馬県知事の中ではおそらく、わたしほど現職の大臣と会った者はいなかったので、そういうアドバンテージも十分に生かせると考えました。

―そのあたりのことを県民の方もよく分かっていたわけですね。

山本　そうだと思います。実際に県内を行脚していろいろな方の声を聞いたり、また独自に世論調査を行ったりして、現職よりも自分を支持してくれる人の数のほうが圧倒的に多いことを実感していました。選挙の結果を見ても群馬県知事選史上、最多得票と最高得票率を記録したので、それだけ多くの県民の方から期待と信頼をいただいたのだと理解しています。

―血判状を出した方もいたそうで。

山本　はい、後援会の方に出していただきました。いかなる場合でも一致協力して支援するという内容であり、熱い気持ちに感激しました。

トップとして決断

―知事が考える「よい県」の定義とは。

山本　県民の幸福度が高い県です。経済の規模も重要ですが、幸福度はそれだけで高まるものではないと思うんです。以前、日本総合研究所が発表している「都道府県幸福度ランキング」で長野県が1位になったことがありますが、同県のGDPは20位以下でした。でも長野県には名山がたくさんあり、日帰り温泉施設も充実しています。しつこいようですが温泉ではどこにも負けていないので、群馬県も1位になる可能性は大いにあると考えています。あとは、何か面白いことが起こるかもしれないとワクワクする県ですかね。そうでないと、特に若い人がいなくなりますから。

―群馬県のキャッチコピーをつくるとしたら。

山本　「リトリートの聖地」がイチオシですね。あとは「県民がワクワクする群馬県、周りをドキドキさせる群馬県」と胸を張っていえるようにしたいです。

―知事としての自己採点は。

山本　65点。わたしはもともと欠点だらけの人間ですが、県庁職員を含めた総合点で65点です。知事の中には自分が前面に出てやるというスタイルの人もいますが、わたしは基本的に総力戦がメインで、国会議員時代も事務所のスタッフと常に協力して物事に取り組んできたので群馬県でもそのスタイルを貫いています。

この2年半でやる気のある人がどんどん出てきて、今、県庁内の雰囲気はいい感じですよ。みんな同じ方向に走っていて、総力戦を続けるにはとてもいいムードだと思います。まぁ、わたしのやり方に巻き込まれ、戸惑っている人も多いと思いますが(笑)。ともあれこの2年半の間に、県庁職員の意識改革がある程度できたと考えています。いや、みんなの意識は絶対に変わったと信じています。

―よくテレビなどで、いいたいことをおっしゃっているので独断専行型と思ってました。

山本　思ったより慎重なんです、実は。

―知事に必要なことってどんなことですか。

山本　まちがいなく決断力でしょうね。群馬県ではわたしがトップなので、最後はわたしが決めないといけない。そして、すべてにおいて自分が責任をとらないといけません。あと、知事の最大のリソースは県庁職員なので、みんなの気持ちをつかまなければならない。そういう意味では、知事には独善的ではないリーダーシップが欠かせないと思います。

―具体的にいうとどんな感じですか。

山本　ムードをつくることですね。県庁職員のリーダーである知事は、みんなを鼓舞するムードメーカーである必要があると思います。どの組織でもそうですが、リーダーが圧倒的に元気ならみんな元気になるじゃないですか。厳しい状況に置かれていても毎日大声で笑い、豪放磊落(ごうほうらいらく)でどんどん前に突き進んでいくリーダーがいればみんな心強いでしょう。だからリーダーである知事の役目は、ムードをつくることなんです。知事が言葉として発すると、それが実現するような雰囲気をつくらなければならない。

ワクチンの2回目接種について、わたしは「何月までに終わらせる」と宣言しました。「できなかったらどうするんだ」という声には、だったら「謝ればいい」といいました。結局、宣言通りに終わらせることができました。これには県庁職員はもちろん、積極的に接種してくださった県民の方に本当に感謝しています。

みなかみ町の星空と山脈

新しいプライドを

―国会議員を辞めて知事になったことに後悔はありませんか。

山本　まったくないですね。先ほどもいいましたが、現場のプレイヤーであるこの仕事に何ともいえない満足感を感じていますから。脳天気というか単純思考というか、国会議員時代の20数年間は知事になるためにあったと思っているぐらいですから、本当に知事になってよかったと思います。

―安倍総理(当時)も慰留されたのだとか。

山本　知事選に出るとお話ししたら、「これから首相補佐官とか大臣とか、いろいろやってもらうつもりだったんだけど」といわれて。安倍さんは優しい方なのでお世辞半分だったと思いますが、そういっていただけて嬉しかったですね。また、党の県連執行部、特に県議団の反対を押し切って出馬したこともあり、安倍さんにはいろいろご迷惑をかけて申し訳なかった。でも、後悔は全然ありません。これだけは断言できます。

―今後の目標は。

山本　まずはコロナ禍を一日も早く克服することですね。現在のオミクロン株の流行を終わりの始まりにして、できるだけ早く次に行きたいと考えています。令和4年度の当初予算を「新型コロナ克服＋新展開実現予算」と名付けました。これには「今は厳しいけれど、ここを乗り越えたら必ず新しい展開がある。だから台所事情は苦しくても、財源をコロナ対策はもとより群馬県の将来を創るような試みにもしっかり使う」という思いを込めています。

―座右の銘を教えてください。

山本　「直滑降」ですね。父がスキーヤーで、全日本の滑降で2位になったぐらいなんですよ。オリンピックには行けませんでしたが、女性の五輪チームのコーチをやったりして、とてもかっこいいオヤジだったんです。彼の座右の銘が「直滑降」で、とにかく真っすぐ行けと。

―ブログのタイトルも『気分はいつも直滑降』ですね。

山本　政治の世界は不条理なことが多いんですよね。いろいろなことがあって、何かと迂回や妥協が求められたりするのですが、それでも真っすぐ行こうと。等身大の自分を包み隠さない、格好をつけていうと、県民の方に真実を語りたい。そんな知事になりたいので、気分はいつも直滑降でいることを何よりも大切にしています。

―最後に群馬県民の方にメッセージを。

山本　照れることなく、群馬県民としての誇りを高らかに語っていただきたい。皆さん照れ屋なんですよね。まぁ、それがいいところでもあるのですが。でも、これからは堂々と新しいプライドを持っていただきたい。よくテレビなどで根拠のないランキングが紹介され、そのため自虐的なムードが漂っているのですが、そんなものは一掃してください。何度もいいますが、わが群馬県はさまざまな面で「ポテンシャル・ナンバーワン」です。わたしはそう信じているので、皆さんもぜひ、群馬県民として新しいプライドを持っていただきたいと思います。

―わたしも一県民としてそうありたいと思います。

山本　ありがとうございます！

尾瀬ヶ原(中田代)©公益財団法人 尾瀬保護財団

富岡製糸場 東置繭所

「一期一会」を大切に、人の「心根」を伝えたい。

Wakako Ikejiri

RKB毎日放送 アナウンサー

池尻 和佳子（いけじり わかこ）氏

福岡県出身　立教大学卒業　1999年入社

現在『池尻和佳子のトコワカ』（毎週水曜／午前10時10分～）、『タダイマ』（月～金／午後3時40分～）、『連続ラジオドラマ～シアワセの高取家～』（月～金／午前10時30分～）などに出演中

2019年にJNN・JRN系列の優れたアナウンス技術者に贈られるアノンシスト賞優秀賞を受賞

民放では九州最古の歴史を誇る福岡県のRKB毎日放送。
地域に根ざした番組づくりに取り組む老舗放送局の人気番組の一つが
『池尻和佳子のトコワカ』です。地元の福岡をはじめ各地で活躍する人をスタジオに招き、
毎回熱いトークを繰り広げる池尻和佳子アナウンサーに番組や仕事への思い、
これからの自分などについて伺いました。

Be colorful. rkb 70th

『池尻和佳子のトコワカ』ホームページ
https://rkb.jp/tv/tokowaka/

★ゲストの熱量に圧倒

―『池尻和佳子のトコワカ』について教えてください。

池尻　福岡はもちろん、全国のさまざまな分野で活躍されている方をゲストにお迎えしての対談番組です。2018年にスタートし、これまでに200人を超える方とお話しさせていただきました。

―どんな方が出演されたのですか？

池尻　起業家やアーティスト、経営者など本当に多彩な世界の方々と対談させていただきました。その世代も実にさまざまで、中学生の男の子や80代の方をお招きしたこともあります。もちろん女性にも多数ご出演いただいています。

―ゲストに何か共通点はありますか？

池尻　やはり熱量がすごいですね。スタジオにお迎えすると室内の温度が一気に上るぐらいです。皆さん情熱を持って自分が取り組んでいることやビジョンを語られるので、わたしもついそのお話を聞き入ってしまうんです。この番組は朝の放送で、視聴者の方からも「この番組を見ると一日を熱く、前向きな気持ちで過ごせる」というお声をたくさんいただいています。

―これまで最も印象的だったゲストは？

池尻　災害発生時などのレスキューシステムを開発する事業を立ち上げた福岡の方ですね。その方は近所で起こったある事件をきっかけに、それまで務めていた大手企業をやめて人の命を守るためのビジネスを開始されたんです。そのまま会社にいれば何の波乱もない人生を過ごせたのに、あえてイバラの道を選び、今では独自開発したシステムが消防や警察にも採用されているそうです。その方の熱量も、やはり普通ではなかったですね（笑）。

―福岡でしか見られないのが残念です。

池尻　ありがとうございます。そういっていただけるのは本当に嬉しいです。エリア外の方や見逃した方のためにYouTubeにアップしているので、ぜひ一度ご覧ください。

九電みらいエナジー株式会社 水町豊社長との対談

―ところで『トコワカ』ってどんな意味ですか？

池尻　漢字で「常若」と書き、「循環」を意味する日本古来の言葉です。わたしとゲストとのお話が見た人の心の中で循環され、それによって世の中がもっと元気でよりよいものになってほしい、という思いを込めています。

★ラジオで3歳児を熱演

―『トコワカ』のほかにも情報番組にご出演ですが、番組づくりにコロナ禍の影響はありますか？

池尻　やはり外での取材が難しくなりました。できたとしても、例えばレストランの厨房に足を踏み入れないといったように狭い空間での取材は避けています。あと、リモートでお話を聞く機会が非常に増えましたね。

―リモートと対面の違いを感じることはありますか？

池尻　対面でなら打ち合わせの段階から直接お話ができるので、その方の話すテンポやスピードを事前に把握した上で本番に入れるんです。でも、リモートの場合はそれができないことが多く、あいづちを打つタイミングを探りながら話をしなければならないので、やはりそのあたりが難しいですね。間の取り方というか。

―熱量も感じられない？

池尻　それもあります。やはりリモートでは温度が伝わってこないですね。また、ラジオ番組ではマスクをしてお話しすることがあり、そのときはちょっとモゴモゴして聞こえているかもしれません。

―仕方ないですよね。

池尻　そうですね、コロナ禍の一日も早い収束を祈るばかりです。

―ラジオではドラマに出演されていて、3歳児と60代女性の二役を演じているそうですね。

池尻　はい。もう5年くらいやっています。『シアワセの高取家』というホームドラマで、RKB毎日放送のアナウンサーが博多弁で家族6人を演じています。

―演じるのは60代の方が大変ですか？

池尻　いえいえ、3歳の男の子の方が大変です。とてもハチャメチャな子で、高い声を出さないといけないので結構のどに負担がかかるんです。だから、いつものどをいたわるようにしています。

©RKB毎日放送

★きっかけは運動会

―アナウンサーになりたいと思ったのはいつごろですか?

池尻　小学生のときに放送委員になったことがあるんです。それで運動会のリレーで「赤が白を追い抜きました」と実況したときに周りが「ワァっ」と盛り上がり、とても興奮しました。「マイクに自分の声を乗せるのってすごく楽しいぞ」って。そう思ったことが最初のきっかけだと思います。

―大学は東京の立教大学ですね。

池尻　はい、アナウンサーになるには東京にいる方がいろいろな情報が入ってくるので有利かも、と思い上京しました。ちょうどそのころ、当時ＮＨＫにいらっしゃった加賀美幸子アナウンサーが古典や漢詩を朗読する番組に出演されていて、それにとても引き込まれたんです。「あぁ、わたしもこんな朗読ができるアナウンサーになりたい」と。

―ラジオで朗読の番組に出演されていますよね。

池尻　ええ、まだ加賀美さんの域には達していませんが。あとＲＫＢ毎日放送のアナウンス部ではボランティアで、こども病院で定期的に絵本の読み聞かせを行っていました。10年以上続いていましたが、最近はコロナ禍で中断しています。残念ですね。

―ＲＫＢ毎日放送ってどんな会社ですか?その強みは?

池尻　１９５１年に「ラジオ九州」として開局した民放では九州最古、全国でも４番目に歴史がある放送局です。強みはテレビもラジオもあることで、ウリはやはり地域密着で親しみやすいところですね。

―社風は?九州の人は豪快なイメージがあるのですが。

池尻　確かに、昔はそうだったのかもしれません(笑)。今はとても優しくておおらかな人が多く、それは会社のロケーションにも関係しているのかもしれません。社屋が「シーサイドももち」というウォーターフロントの街にあり、窓から海を一望できるんですよ。だから毎日リゾート地で仕事をしているような感じです。

★100%満足はない

―これまでのお仕事でアナウンサー冥利に尽きると思ったことは?

池尻　先日『トコワカ』に建築家の隈研吾さんにお越しいただき、そのときはこの仕事をしていて本当によかったと思いましたね。建築を見たり美術館を巡るのが好きで、隈さんは憧れの人なんです。番組ではニューノーマル時代の生き方や、人にとって本当に大切なこと、日本人の原点などについて一緒に考える時間を持つことができ、とても刺激になりました。

―アナウンサーってどんな仕事だと思いますか?

池尻　地味な仕事ですね(笑)。準備する時間の方が長く、それも職人のように黙々と、という感じで。そして放送を見た後には、もっとこんなふうにいえばよかったとか、こんなことを聞けばよかったとか、そんなことばかり考えてしまうんですよね。でも逆にいうと、１００%満足できないからこの仕事を続けてこられたのかもしれません。

―失礼ですが、これまでに失敗したことはありますか?

池尻　生放送中、スポンサーである酒造会社の新ブランドを紹介するとき、漢字の読み方をまちがえてしまって。放送が終わると営業部がざわついていて、「何があったんですか」って聞いたらミスを指摘され「ア～」って感じでしたね。それで謝罪の手紙を書いたら、逆にお酒を何ケースも送っていただいたんです。もうホッとしたというか感激して、そのとき、失敗を失敗のまま終わらせてはいけないということを身にしみて感じました。

★10年後もやりたい仕事を

―今後どんなアナウンサーを目指したいですか?

池尻　やはり地元のニュースへのニーズが高いので、現場の声をしっかり届けるアナウンサーとしての技術をより高めていきたいです。またアナウンサーの枠を超えて、『トコワカ』にご出演くださった方々の交流会を企画したいですね。ゲスト同士がダイレクトにつながると、さらに面白い取り組みが生まれると思うんです。コロナ禍以前に小規模の集まりを開催したことがあり、そのときも大変盛り上がったので、『トコワカ』の会みたいな感じでいろいろな分野の方々が交流できる機会をつくりたいです。

―本を書いても面白いかもしれません。これまでに会ったゲストとのお話を一冊にまとめて『和佳子が逢った輝いている人』みたいなタイトルで。

池尻　そうですね、機会があればぜひ!

―もし、10年後の自分に声を掛けるとしたら?

池尻　そのころは子どもが独立し、今よりもっとゆとりを持って仕事ができると思うので「ゆっくりと、自分の本当にやりたい仕事をやりなさい」と声掛けしたいです。今思えば、子育てをしながら不規則な時間での仕事をよくやってきたなと思います。あと、10年後にはきっと声に渋みが出ていると思うので、古典の朗読にチャレンジしたいですね。

―最後に池尻さんの好きな言葉を教えてください。

池尻　二つあって、コロナ禍の今、最も心に響いている言葉が「一期一会」です。『トコワカ』での出会いはすべて、ちゃんと理由があっていただいたご縁のような気がして「一期一会」の重みを番組を通してあらためて感じているところです。もう一つは「心根」、これは仕事をする上で昔から大切にしている言葉です。その人の表面的なことではなく心の根っこ、つまり人間性やその人本来の魅力を上手に引き出し、誰かに分かりやすく、しかも印象的に伝える。これからもいつまでも、そんなアナウンサーであり続けたいと思います。

©RKB毎日放送

地域のお客さまのために、飽くなきチャレンジを。

預金・貸出金ともに業界最大の規模を誇る京都中央信用金庫。古都・京都を拠点としてお客さま本位の経営に取り組み、時代に先駆けたチャレンジを通して地域の発展を支える京都中央信用金庫は、まさに信用金庫業界のリーディングカンパニーと呼ぶにふさわしい存在です。その日本一の信用金庫を率いる白波瀬誠理事長に、経営方針や現在の取り組み、今後の展望について語っていただきました。

京都中央信用金庫 理事長
白波瀬（しらはせ） 誠（まこと） 氏
1972年京都中央信用金庫入庫
常務理事、専務理事などを経て2015年に理事長就任
［聞き手］本誌編集長 小松 宣俊

業界初の預金5兆円 貸出金3兆円

当金庫は京都市に本店を置き、多くのお客さまから「中信」の愛称で親しんでいただいています。現在、京都府、滋賀県、大阪府、奈良県に132店舗を展開しています。

本店ビル

創立は1940年にさかのぼり、80周年を迎えた2020年に信用金庫業界で初めて預金が5兆円を超え、2021年には貸出金でも業界初となる3兆円を突破しました。これは信用金庫では日本一であり、全国の地方銀行の上位クラスに匹敵する規模を誇ります。また、京都市内のメイン先数ではトップシェアを有しています。京都ではメガバンクや地方銀行、そして信用金庫が同じ土俵で熾烈な競争を繰り広げています。このような中で現在の大きなシェアを得るに至ったのは、それだけ多くのお客さまに当金庫を信頼していただいている証しと考えています。

ちなみに本店は京都のビジネスの中心である四条烏丸にあり、ここは日本三大祭の一つで京都の夏の風物詩である祇園祭の舞台でもあります。当金庫も函谷鉾と占出山という二つの山鉾町の企業町衆として、歴史と伝統のある祭りに毎年参加させていただいています。

3つの「S」と3つの「C」

地域金融機関である信用金庫にとっては伴走支援、つまり地域のお客さまに寄り添い、その豊かな暮らしや成長を支えながら自らも成長することが経営の大前提となります。その経営方針を分かりやすく表したのが、3つの「S」と3つの「C」です。

当金庫ではまず、地域のお客さまのよりよい暮らしのため、ご融資やご預金などの業務を通じて「SERVICE（サービス）」に徹することを重視しています。次に、いつもお客さまとの心のふれあいを大切に、さまざまなニーズに素早くお応えできる「SPEED（スピード）」が不可欠と考えます。さらに笑顔を忘れることなく、常にポジティブな姿勢でお客さまのお役に立とうとする職員を育てる、いわば「SMILE（スマイル）」の要素も欠かすことができません。

もちろん、信用金庫には地域のお客さまのあらゆるご相談に的確にお応えし、お客さまに役立つ情報提供が行える「CONSULTATION（コンサルテーション）」が求められます。一方、京都は文化都市であることから、京都を拠点とする当金庫には文化を育むことでお客さまの心豊かな暮らしの実現を目指す、「CULTURE（カルチャー）」の視点も重要です。また、信用金庫には地域のお客さまとよりよい信頼関係を築くことで、最高のお客さま満足を目指す「COMMUNICATION（コミュニケーション）」が欠かせません。

当金庫では、すべての職員がこれら3つの「S」と3つの「C」を着実に実践することで、多くのお客さまからの信頼を獲得し、その積み重ねが業界をリードする今日の業容拡大につながったと考えています。

また、2005年には当金庫の経営方針をお客さまに向けて発信する「On Your Side 一緒がうれしい」宣言を行いました。これは「つねにみなさまの傍らにいてともに肩を並べ、声を掛け合いながらまっすぐ、同じ夢、同じ目標に向かって歩んでいく」というスローガンです。現在は京都の各界で活躍する方々にご登場いただく広報活動などを通して、地域のみなさまに知っていただけるように活動を続けています。

一緒がうれしい On Your Side
京都中央信用金庫

自ら考え行動する

ここからは当金庫の取り組みについてお話したいと思います。まずは、最も重要と考える人材育成についてです。わたしは各地域の営業店でさまざまな経験を積んだことから、信用金庫経営の根幹はやはり現場にあると考えています。そして当金庫の未来は、その現場を支える人材をいかに成長させるかに掛かっています。

お客さまに寄り添い、お役に立つことができる人材をどのように育てるのか。これまでは本部から各営業店にさまざまな指示を出していましたが、最近は新たな取り組みとして、営業店の職員が自ら考えて目標を立て、その実現に向けて行動するような意識改革を促す方法を重視しています。お客さまが抱える課題は当然お客さまによって様々です。それを解決しようとすれば、お客さまとダイレクトに接する営業店の職員がイニシアチブを取る必要があります。本部がいくら優れた戦略を立てても、営業店の職員にそれを実行する気概と能力がなければ意味がありません。

職員一人ひとりがお客さまと接する中で、自分に何ができるかを徹底的に考え、自ら立ち上げたプロジェクトが幾つかあります。例えば京都大学がある百万遍という地域を盛り上げるべく、「百万遍！京のデカ盛り！すとりぃと」というプロジェクトを進めています。百万遍には食べ盛りの学生のニーズに応えるため、昔から「デカ盛り」を売りとする飲食店が集まっているのですが、昨今のコロナ禍により学生の来店が激減し、多くの飲食店が影響を受けていました。そのような実情を知った職員が、地域の飲食店に積極的に働き掛けて実現させたのが「百万遍！京のデカ盛り！すとりぃと」です。これは、いわば「デカ盛り」グルメをテーマに地域の活性化をはかる取り組みです。コロナ後を見据えたこのプロジェクトはテレビや雑誌にも取り上げられ、成果を挙げています。

また、2021年には京都の料亭の素晴らしさを全国に伝えるために、「京都料亭文化プログラム」と銘打ったクラウドファンディングを展開しました。料亭で料理が提供されるには、食材の生産者から流通業者、そして庭師や芸術家に至るまで、あらゆる分野の分業で成り立っています。プロジェクトには19の料亭が参加し、1000名を超える方から3000万円ものご協力をいただき、料亭文化の魅力を発信できたことは、大変意義があったと思います。

一人ひとりがリーダー

これらのプロジェクトを立ち上げたのは支店長や幹部職員ではなく、一般の職員、しかも若い人たちです。彼らはみんな、それぞれの取り組みを通してプロジェクトのリーダーとしての自覚をしっかり持ってくれたと考えています。リーダーを経験することで学ぶことは非常に多くあります。考える力はもとより、人をまとめたり、あるいは人の隠れた能力を発掘したりする力もリーダーを務めることで養われます。また、リーダーは目標の達成や人間関係の調整などで何かと苦労をするものであり、その辛さを身をもって知っておかなければ、ほかの人に協力しようという気持ちもわいてこないでしょう。

当金庫もこれまでリーダーといえば、一部の人材が抜擢されるものと考えていましたが、これからはすべての職員がリーダーになるべく切磋琢磨することを求めていきます。より積極的にお客さまに寄り添うことで、その課題をいち早く見つける。そして自ら考え、行動することでほかの職員の協力を得て、ともに知恵と力を合わせてお客さまの課題解決にチャレンジする。このようなサイクルを繰り返すことで組織の力を強め、それがひいては地域のお客さまの豊かな暮らしに貢献するものと、わたしは信じています。

ところで昨今のコロナ禍のように社会が大きく変化しているときは、その変化を悲観的にとらえるのではなく、それを好機に変えるためにはどうすればよいかを考えれば、さらなる飛躍につながります。今は最大のビジネスチャンスだと、ポジティブに考えることが大切です。だからこそ、若い職員にはいろいろなことにチャレンジしてほしい。困難なミッションに果敢に挑戦することを心から期待しています。

それと同時に、大変なときだからこそ、お客さまとより膝を突き合わせることが大切です。当金庫ではコロナ発生後すぐに個人事業者や零細・中小企業のお客さまを訪問し、それぞれの現状はもちろん、これからのことについてしっかり話し合うことに努めました。その結果、実質無利子・無担保で融資を行うゼロゼロ融資をいち早く、それも京都府内で最も多く取り扱うことができました。

京都の魅力を世界へ

当金庫が最近力を入れている取り組みに、インターネットを利用した中国向けの越境EC（電子商取引）があります。これは海外からの観光客が激減した京都の小売店に新たな販路を提供できるよう、立ち上げたプロジェクトです。具体的には、貿易や海外販売の経験がないお客さまの商品を、当金庫が運営するECモールを利用して販売していただくというもので、お客さまにとっては少ない負担で海外ビジネスに参入できるというメリットがあります。実際にこれまでに120社から800を超える商品が出品され、月に数百万円の売上を計上しています。売れ筋は抹茶を使ったお菓子やチョコレートで、梅酒や清酒なども人気です。このような取り組みは、さまざまな分野から注目を集めています。

また、京都が誇る伝統産業の世界市場への売り込みも積極的に行っていて、これまでにフランスのパリで「INSPIRATION OF KYOTO」と銘打った見本市を開催しました。ところで、いくら京都の伝統技術が優れていても、デザインが和風そのままでは海外ではなかなか受け入れられません。そこで、エルメス本社で副社長を務めたこともある超一流のアドバイザー等を迎え、出展企業と共に、外国の方の好みに合わせたデザインの商品を製作したところ、現地のバイヤーからも非常に高い評価を得ることができました。コロナ禍の現在は「INSPIRATION OF KYOTO」を国内でも展開しており、先日も東京でホテル・レストラン業界の見本市やウェブサイトにブースを出展し、織物や和紙、漆を用いた壁紙などにヨーロッパ各国のバイヤーから多数の問い合わせをいただくことができました。

地元企業の支援といえば、異業種間のマッチングを目的とした「中信ビジネスフェア」を毎年開催しており、2021年で33回目を迎えました。300社が一堂に会し、多いときには2日間で1万名以上の方が訪れるフェアは、おそらく金融機関の単独開催では日本最大規模だと思います。

文化支援も積極的に

もちろん、当金庫ではお客さまを対象としたサークル活動も活発に行なっています。1985年から毎年冬に、1泊2日のバス旅行を企画しています。コロナ禍の2年は中止していますが、ピーク時には1万7000名のお客さまを数十班に分け、北陸や近隣の温泉地までご案内しました。

このような取り組みはお客さまにお喜びいただくことはもとより、訪問する地域の産業に貢献することでも意味があると考えています。宿泊施設をはじめ、お土産屋などの各種商店、ドライブインに1万名を超えるお客さまが訪れるわけですから、その経済効果は相当大きなものがあります。このように京都以外の地域の発展に寄与することも、当金庫に課せられた役割の一つだと考えています。

また、先ほど3つの「C」のところでお話ししましたが、当金庫では京都の文化支援を継続的に行っています。公益財団法人中信美術奨励基金を設立し、顕彰事業として京都を基盤に活動する芸術家に「京都美術文化賞」を授与しています。1987年の創立以来、毎年3名の方に200万円の賞金を贈呈しており、これまでに100名以上の芸術家の活躍をたたえてきました。また、中信美術館を独自に運営してさまざまな展覧会を開催しています。わたし自身も京都市京セラ美術館と京都国立近代美術館の評議員を拝命し、京都はもとよりわが国の芸術のさらなる発展に微力ながら協力しています。

中信ビジネスフェア2021

第34回 京都美術文化賞贈呈式

ベンチャーの都として

ご存知の通り京都は世界的にも有名な都市ですが、そうであっても少子高齢化の影響を避けることはできません。幸いほかの都市に比べると人口減少のペースは遅いといえますが、このまま手をこまねいていては京都にも明るい未来はないでしょう。

そこでカギとなるのは学生です。京都は「学生の街」といわれるだけあり、人口に占める学生数が最も多い都市だからです。それゆえ、学生が大学や大学院を終えた後も京都で仕事をしながら暮らしたいと思えるような環境づくりが、京都の人口減少を抑制する一つのカギになると考えています。学生の京都への定着率は低いので、その率を少しでも上げるべく産官学金の連携を強化し、その中で当金庫がすべきことによりいっそう注力していきたいと考えています。その一例が起業家をサポートする取り組みであり、当金庫では1985年に中信ベンチャーキャピタル株式会社をいち早く立ち上げ、これまでに18億円ほどを投資して11社の上場を実現してきました。

京都は「ベンチャーの都」です。京セラや任天堂といった世界的な企業もベンチャーとしてスタートし、京都に息づく匠たちの知恵と技を応用して大きく成長しました。これからもそのようなベンチャーやスタートアップへの支援を通して、京都に活力を与え続けていきたいと考えています。

子どもの未来とSDGs

昨今の社会を見わたすと、SDGsの実現に向けた取り組みが企業の大きな社会的責任となっています。当金庫では2019年2月に京都の金融機関としてはいち早くSDGs宣言を行い、SDGsの各目標に沿ったかたちで「地域産業の育成・発展の支援」「多様な人材の育成」「環境負荷軽減への対応」を行っています。

また、職員に持続可能な地域の発展のために何ができるかについてプレゼンテーションさせる機会を与え、本業支援賞・SDGs賞として優秀な事例を選出しています。さらに、本年2月には金庫内にサステナビリティ委員会を立ち上げ、脱炭素を含め、金庫一体となってSDGsの実現に向けた取り組みを加速させています。

ところで当金庫がSDGs宣言を行ったのは、「社会的に支援を必要とする子どもたちを誰ひとり取り残さない」という思いからでした。子どもは、これからの社会と世界を担う宝です。それなのに現在も児童虐待が絶えることがありません。子どもたちを負の連鎖から救うためには教育や養育環境を改善することが不可欠であり、そのためには率先して行動すべきと考えSDGs宣言を行うに至ったのです。その一環として当金庫では京都府・市にそれぞれ継続的に寄付を行うなど、子どもたちの未来のために今できることを一つひとつ実践しているところです。

また、公益財団法人中信育英会では、学力優秀で品行方正でありながら経済的理由で修学が困難な学生に対して毎月2万円の返済義務のない奨学金を支給しています。1981年から現在まで京都の24大学908名の大学生に支援をしております。

本業支援賞・SDGs賞選考会

ずっと顧客に寄り添う

当金庫の今後については、サステナビリティな金融機関であることが一番大切だと考えています。そのためにはこれまで以上に、地域に貢献するという課題に金庫を挙げて挑み続ける必要があります。目指すは、地域に根ざしたきめ細やかさをフルに活かして地方銀行やメガバンクにできないことにどんどんチャレンジし、地域の方により選ばれる金融機関になることです。そのためには今後、あらゆる課題にチャレンジャーとして取り組む姿勢が重要と考えます。

学生デザインコンテスト表彰（中信ビジネスフェア2021のイベント）

こういうと何か壮大なことのように聞こえるかもしれませんが、要はお客さまのご要望にすべて「イエス」とお応えするということであり、そのためにはお客さまにさらに寄り添い、そのライフサイクル全体にわたってお付き合いすることが肝要です。企業であれば、創業から成長、そして事業承継に至るまでずっとお付き合いさせていただき、その中で成長期をいかに持続させるかが金融機関としての腕の見せどころです。もちろんこれは言葉でいうほど簡単なことではありませんが、職員全員がそういった気概と能力を身につけることが、地域密着の信用金庫としての責任にほかならないと考えています。

販促イベント「越境ECライブ」

すべて心の持ちよう一つ

最後にわたしのモットーをご紹介します。それは「志は高く、心は清く、理想は遠大」という意味の「志高清遠」です。現状に満足したらそれで終わりです。欲張るのではなく志を高く、そして目指すは大きく、つぎつぎと新しいことを考え出すことで自分を成長させてきたと思っています。経営する立場になってからは二宮尊徳の「遠くをはかる者は富み、近くをはかる者は貧す」という言葉を大切にしています。目先の利益にとらわれず、未来を考えて今、やるべきことをやる姿勢が経営者には欠かせないからです。

職員に伝えたいのは渋沢栄一翁の「世の中のことはすべて心の持ちよう一つでどうにでもなる」です。不可能に思えることでも、できると信じて力を尽くせば仲間も増え、そうすると成功への道筋が見えてくる。わたしもこの言葉の意味を忘れることなく、これからもチャレンジを続けてまいります。

京都中央信用金庫
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地
https://www.chushin.co.jp/

病院から見たコロナ感染の対策と予防

医療法人社団美心会 黒沢病院 理事長

黒澤（くろさわ） 功（いさお）氏

社会福祉法人ペレンナトリリアム 理事長
社会福祉法人マグノリア2000 理事長
NPO前立腺がん検診推進ネットワーク 理事長

経歴

1941年 群馬県生まれ。
1966年 岩手医科大学卒業後、群馬大学医学部泌尿器科入局
1977年 黒沢医院を開設
1985年 病院へ転換
2009年 黒沢病院附属ヘルスパークリニック
2014年 黒沢病院新築移転.脳卒中センター
2015年 介護老人保健施設「老健くろさわ」
2018年 介護付有料老人ホーム「カーサ・デ・ヴェルデ黒沢」開設

日本泌尿器科学会評議員、日本泌尿器科学会指導医、日本透析医学会認定医、日本医師会認定産業医、
日本医師会認定健康スポーツ医、日本人間ドック学会研修施設指導医、日本糖尿病協会登録医など

はじめに

新型コロナウイルス感染症は未曽有の国難となり、私たち医療機関も、短期、中・長期的を問わず、その対応にはスピード感と変化をいとわない姿勢が求められています。

今回は、私たちのこれまでのコロナ対策への取り組みと予防策、今後の課題についてお話したいと思います。

災害医療に近い状況

年明けとともに急拡大したオミクロン株によるパンデミックでは、昨夏第5波の2倍に相当する1日150名前後の患者が発熱外来に押し寄せています。検査試薬や資材の入手も困難になり、判定の一部を外部機関に委託せざるを得ず結果の通知に何日も要する状態が続いています。院内の新型コロナ中等症患者専用病床16床も常に満床状態が続いています。

収束並びに被害の最小化の要は「ワクチン接種」です。とにかく「1日でも早く」そして「一人でも多く」の方に接種すること。当院は、ワクチン基本型接種施設として、昨年3月以来日曜日も含めて接種を実施し、さらに県や市が実施する集団ワクチン接種会場への医師や看護師の派遣も積極的に協力しています。

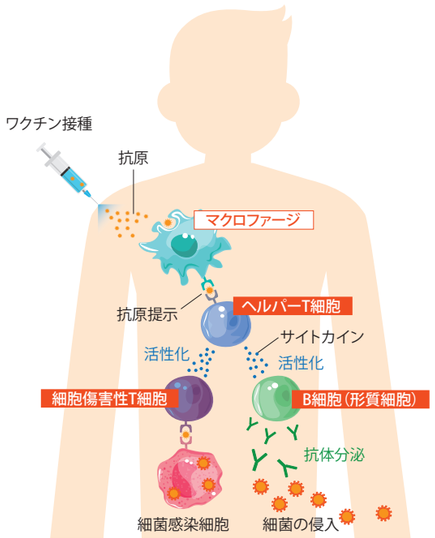
新型コロナウイルス感染症に勝つ！

① ワクチン接種

ワクチンを打つと血液中に抗体（コロナウイルスと戦えるタンパク質）ができ、コロナウイルス病原体の悪影響を「中和」します。これにより「コロナウイルスの感染予防効果」と「コロナウイルスによる重症化予防効果」が期待できます。この「中和抗体」の量が増えれば、より一層免疫作用がよく働くようになりコロナウイルスに罹りにくくなったり、重症化を防ぐことができます。

ワクチンの作用

ワクチンを注入すると、マクロファージによる抗原提示を受けたヘルパーT細胞は、細胞傷害性T細胞とB細胞を活性化する。ワクチンを抗原として一度認識するれば、T細胞にもB細胞にもその抗原を記憶する、メモリー細胞が残り、その抗原を持つ病原体に対して免疫監視を続けることになる。



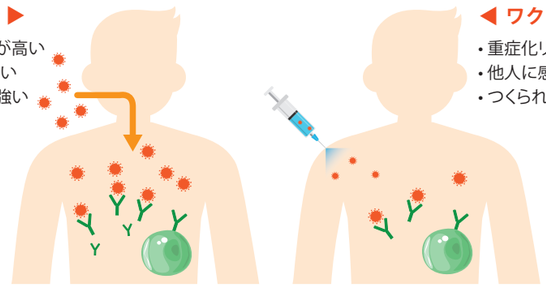
自然感染とワクチンの違い

自然感染の場合 ▶

- 重症化するリスクが高い
- 他人に感染しやすい
- つくられる免疫は強い

◀ ワクチンの場合

- 重症化リスクがほとんどない
- 他人に感染しない
- つくられる免疫は少し弱い



（出典）鈴木隆二「カラー図鑑免疫学の基本がわかる事典」（株）西東社、2015年、P.145

新型コロナウイルス感染症に勝つ！ ② 自粛生活で認知症機能が低下

長い自粛生活のなかで、高齢者や体力のない方の認知機能の低下が大きな問題になっています。

日本認知症予防学会は新型コロナウイルス対策として、1日30分以上の軽い運動、頭の体操、対面やオンライン、手紙などで人とのコミュニケーションなどを提唱しています。老化は40代から進むと言われ、徐々に高血圧や動脈硬化、糖尿病、心疾患、脳卒中、がんなどの生活習慣病にかかる人が増えてきます。しかし、運動や食生活などの改善で老化のカーブを緩やかにすることができます。歩ける人は、ぜひインターバル速歩という「早歩き」と「ゆっくり歩き」を交互におこなう運動を実践してみてください。早歩きとゆっくり歩きの繰り返しを1回15分、できれば30分を1日に2～3回おこなうと体力向上に有効です。

さらに運動すると、多くの脳内化学物質が活性化するため、脳の炎症を抑えることができ、長期的にはうつ病や不安症、孤独感の防止にもつながると言われています。

インターバル速歩

（出典）能勢博「高血圧・肥満・ひざ痛が治る！世界一効く健康ウォーキング」（株）池田書店、2020年、P.13

新型コロナウイルス感染症に勝つ！ ③ 自然免疫力を高める生活習慣

ウイルスや細菌などの病原体が私たちの体内に侵入してきた時、それらを排除し、生命を守る仕組みが免疫システムです。免疫の本来の機能は「人が病気から免れるだけの仕組み」ではなく、「人間にとってウイルスを異物と認識して、自主的に排除する仕組み」です。そのため、免疫システムの力を高めることで、新型コロナウイルスの感染や重症化を防ぐことにもつながります。図1の因子で重症化の危険率が上がりますが、それはコロナウイルス以外の病原菌に対しても同じです。

また、免疫力を高めるためには食事をはじめとする生活習慣を整えることが重要です。免疫力を高める食品は図2の通りです。

食べ物は認知機能にも影響すると言われています。単品の食事はやめて、食パンやご飯と肉、魚、野菜、みそ汁、お茶などのおかずの多い多様な食品を摂取することが脳にも良いようです。

認知症と食事

新型コロナウイルスの重症化因子 図1

- ◎ 65歳以上（加齢によって免疫力が低下している）
- ◎ 糖尿病
- ◎ 肥満
- ◎ 免疫不全
- ◎ 骨髄や臓器移植をした人
- ◎ 喫煙者
- ◎ 腎疾患・肺疾患・心臓疾患を持っている人
- ◎ 妊娠

図2 これが免疫力を高める食材だ

1 免疫細胞をつくる

●豆腐、納豆、牛肉、鶏肉、豚肉、魚、ゆで卵、卵など
たんぱく質は、免疫細胞を含むすべての細胞の材料となる。大豆製品、肉類、魚介類、卵類、乳製品などに多く含まれている。

2 免疫機能を高める

●ブロッコリー、キャベツ、トマト、ニンジン、タマネギなど
植物性化学物質のファイトケミカルがマクロファージを活性化。皮や葉にも含まれており、アクや渋みなどもファイトケミカルの一種だ。

3 ストレス予防効果がある

●キウイフルーツ、カリフラワー、ピーマン、ベリー類、かんきつ類など
免疫力を下げるストレスがかかると、アドレナリンが大量に分泌され、ストレスに対抗しようとする。ビタミンCはその合成に欠かせない。

4 腸内環境を整える

●ヨーグルト、キムチ、ぬか漬け、きのこ類、バナナ、アーモンドなど
免疫細胞の多くが集まる腸内。乳酸菌やビフィズス菌は善玉菌を増やし、食物繊維は便秘の予防・解消に有効。マグネシウムは便を排出する働きがある。

5 体を温める

●ショウガ、にんにく、こしょう、トウガラシなど
高めの体温を保つことでNK細胞を活性化。東洋医学の世界では、地中で育つ根菜や芋類、寒い季節に採れる野菜、暖色系の食物が効果があると言われる。

（出典）PRESIDENT 2020.7.3 P.22

コロナ禍における新たな課題

コロナ禍において、多くの患者さんが感染を恐れ医療機関への受診を控えるようになり、国内の初期がんの手術も2割減少いたしました。これは進行がんが2割増加することを意味しており、大変危険な状態であることを群馬大学大学院総合外科学講座主任の調憲教授が研究発表し警鐘を鳴らしています。

また発熱外来においては、コロナ感染者の発見とともに発熱による他の疾病も多数発見いたしました。当院はこれまで、治療とともに予防医療の重要性を訴え、人間ドック、脳ドックほか各種健康診断の提供に力を入れてきましたが、コロナ禍だからこそ、他の疾患にもきちんと目を向けていくことが重要であると感じています。

まとめ

コロナ禍の2年間は、解決への近道はなく日々の変化に対して正確かつ迅速に決断し対応するまさに「獣道を行く厳しさ」でありコロナとの「全面戦争」の毎日でした。しかし、この取り組みは、将来、未知の感染症が発症した時の重要な道しるべとなるはずです。

そのために私は、行政の指導に従いつつ、職員全員にコロナ禍の現状をよく理解してもらい、職員間の垣根を取り払いながら、刻々と変化する事態への素早い対応、資源の投資、そして限られた人的資源の有効な活用など、あらゆる面から全力で向き合い、自分ができる最高の成果を挙げられるよう最大の努力を続けてまいります。

不幸にして命を落としたり、病気になる人を一人でも減らし、最終的にコロナとの闘いに全面勝利する。勝利後は、新たに幸せで明るい社会をみなさんと一緒に築いてまいりましょう。

医療法人社団美心会 黒沢病院
〒370-1203 群馬県高崎市矢中町187 TEL:027-352-1166（代表）
https://www.bishinkai.or.jp/

HOT BREAK Interview

政財界のトップの社交場として誕生した「ジャパンエースゴルフ倶楽部」を訪ねる

関西指折りの名門コースで、至福の時間を味わう

ゼブラカットされた芝生の
眺めが良い9番ミドルホール

ドライバーショットからアプローチまで
プレッシャーとなる18番ミドルホール

ジャパンエースゴルフ倶楽部

支配人　川島 幸雄 氏

開場の経緯から教えてください。

当倶楽部の開場は1972年です。当時はゴルフブームの先駆けの時期でゴルフ場の数がまだ少なく、予約がなかなか取れない状況でした。そこでゴルフ場を新しく開設するにあたり、いつでも予約が取れる環境を整え、会員の方に至福の時間を気軽にお過ごしいただくことが当クラブの運営方針となりました。

関西のみならず日本の政財界トップの方々の社交場を目指し、入会金を当時としては破格の500万円としたことや、会員数を350名に限定したことも、その方針に基づいたものでした。法人会員の資格は東証一部上場企業の専務以上、個人会員についても若干名ではありますが特有の資格を設けてご入会いただきました。

クラブハウス（オープン当時）

理事長も財界を代表する方々が歴任されたそうですね。

親会社の綾羽株式会社は伊藤忠商事と縁があり、初代理事長に「伊藤忠中興の祖」である故越後正二氏が就任し、その後関西電力、日本生命など関西経済界を代表する企業のトップへ引き継がれ、現在は伊藤忠商事の岡藤正広会長が理事長を務めています。

また、創業者の故河本嘉久蔵は参議院議員を3期務め、国務大臣に就任した人物であり、政界での縁などから記念すべき会員の一番は故田中角栄元首相になっていただきました。

まさにそうそうたる方々が倶楽部の歴史をつくってこられたのですね。ではコースの特徴を教えてください。

丘陵・林間コースで全長6,880ヤード、高低差およそ15メートルというフラットなコースです。18ホール中でティーイングエリアからグリーンが見えないのはわずか4ホールのみで、プレーヤーはストレスなくティーショットを打つことができます。

また、開場当時ゴルフ場の主流となっていた2グリーンを配置せずに1グリーンにこだわったことで、グリーン周辺の難易度を高めると同時に、バンカーと池の配置やフェアウエイ、グリーンともにアンジュレーションを持たせた戦略性のあるコースレイアウトになっています。

モノトーンで統一されたエントランス

芝生管理の観点から自動散水設備をグリーン、フェアウエイの全ホールに設置したのも当時としては早かったと思います。

19番ホールの舞台となるクラブハウスの設計も、当時としてはかなり新しいものだったそうですね。

どちらかといえば開放感に乏しい設計が流行りであった当時において、クラブハウスのイメージを大きく覆す斬新な設計を施しました。重厚感を持たせたエントランスを入ると吹き抜けになった大きな空間を演出し、外壁には格子のガラス窓を多用することで昼間は照明が必要ないくらいの明るさを維持した上で、インテリアを落ち着きあるモノトーンで統一しています。瓦葺屋根の景観も、当クラブハウスの大きな特徴であると思います。

格式ある倶楽部ゆえ、マナーについてもかなり厳格な規定があるとお聞きしたのですが。

近年世界レベルでゴルファーのスロープレーが問題視され、ルール改定にまで及んでいますが、当倶楽部では開場以来、スロープレーこそが最大のマナー違反であるとの方針でコース運営に取り組んできました。そのためプレーヤーへの啓蒙と併せてキャディ教育を徹底しています。キャディとしての知識を有するだけでなく、プレーヤーへの適切なアドバイスや素早いクラブの受け渡しによって遅滞なく次のプレーに誘導することが、キャディの技量だと考えているからです。

乗用カートには20年前から各組のラウンドペースを管理するためにGPSを導入しています。これは迅速で効率的なマーシャル活動を行うためで、現在、当クラブでのハーフラウンド所要時間は1時間53分を維持しています。

こちらでは地元の特産である近江牛を堪能できるそうですね。

「すきやきハウス」のことですね。プレー後の会食の場として近江牛をご賞味いただける、すきやきやしゃぶしゃぶなどのメニューを提供し、特に土日祝日は予約で満席になるほどのご好評をいただいています。

合掌造りの建物は富山県礪波郡利賀村から移築したもので、ナラやヒノキなど数種類の材木で構築され、築200年以上といわれています。江戸時代の建築は外観も内装も風情があり、こちらもお客さまから大変なご好評をいただいています。ちなみに利賀村は平家の落人が移り住んだとされる山奥の村で、その名は前田利家の「利」と加賀の「賀」を合わせたものです。

落ち着いた雰囲気のお座敷

合掌造りを移築したすきやきハウス

では最後に支配人のお気に入りのコースを教えてください。

アウトコース9番ホールとインコース18番ホールです。いずれも400ヤード強の長いミドルホールでパーオンが難しく、最終ホールにプレッシャーのかかるホールとなっています。

9番は少し左にドッグレッグした打ち下ろしのホールです。ティーインググラウンドに立ったとき、きれいにゼブラカットされた芝生の眺めが気に入っています。距離もあり、セカンドから上りとなる難しいホールですが、フェアウエイも広く思い切りのよいショットでパーオンを狙ってください。18番はセカンドが池越えのホールでグリーン手前のゾーンが坂になっています。自分のドライバーの飛距離に合わせてツーオンを狙うか、セカンド地点にある大きなクスノキを避けてサードショットで勝負するか考えさせられるホールとなっています。

このほか、各ホールともストレスなくラウンドできる設計になっているので、爽快な一日を満喫いただければ幸いです。社員一同お待ちいたしております。

Ace
Japan Ace Golf Club
ジャパンエースゴルフ倶楽部
〒520-3011 滋賀県栗東市下戸山500番地
TEL. 077-553-3333 FAX. 077-553-3339
E-mail. japanace@ayaha.co.jp
https://ayahagolf.co.jp/jace/

Asian Now

在留資格「特定技能」について

人手不足解消の切り札というべき新たな在留資格「特定技能」の創設から、約３年。
現状と企業がすべき申請や支援について解説いたします。
即戦力となる外国人材の受け入れと共生について考えてみませんか？

在留資格『特定技能』の現状について

２０１９年４月に、人手不足が深刻化する産業への対応として、在留資格「特定技能」制度が設立されました。これまで、日本で外国の方がフルタイムで働くためには、高度な専門技術を持つことが求められていましたが、「特定技能」ではハードルが下がり、外国人材を労働力の確保として雇い入れることが可能になりました。

当初、運用が始まった業種「介護業」・「宿泊業」・「外食業」に加えて、「ビルクリーニング業」、「農業」、「飲食料品製造業」、「航空業」、「造船・舶用工業」、「自動車整備業」、「素形材産業」、「産業機械製造業」、「電気・電子情報関連産業」、「漁業」「建設業」の運用が開始され、計14の産業分野において即戦力となる外国人材の受け入れが可能となりました。

特定技能制度の創設当初は、想定される人数には至りませんでしたが、２０２１年11月現在では大幅に増加し、約４万６千人の外国人が特定技能の資格を持ち、日本で働いています。

増加の一因は、在留資格「技能実習」で滞在していた外国人が、新型コロナウイルス感染症の流行による渡航制限で帰国できないことから、特定技能の申請をするケースが増えていることにあります。

出入国管理庁のデータによりますと、２０２１年６月時点で在留外国人数は２８２万人であり、その内、技能実習生は約35万人を占めています。

現在、入国制限が続く影響で、技能実習生は減少する一方ですが、実習を修了しても帰国できない外国人が、特定技能に資格変更をするケースが多くみられます。

最近は、実習生の母国への国際定期便が徐々に再開されていることから、帰国する実習生の増加が見込まれますが、特定技能として日本に残る先輩や友人の姿を見て、特定技能を希望する実習生が増加していくことが想定されます。

特定技能外国人を雇うメリットについて

では、特定技能（外国人材）を雇い入れるメリットは何でしょうか。大きく次の５つが挙げられます。

❶ 労働力不足の解消

少子高齢化が進む国内（日本人）ではなく、海外（外国人）からリクルートし人材を確保することができます。人手不足で生産効率が低下している、国内人材確保には限界があるという企業にとっては、即戦力となる人材を迎え入れることができます。

❷ 技能実習からの引継ぎが可能

技能実習２号（３年）で培われた技能を保有した人材を、延長して雇うことができます。他社からの移籍も可能です。

❸ フルタイムでの雇用が可能

原則、労働日数が週５日以上、年間２１７日以上であり、かつ週労働時間が30時間以上であることが受入要件です。留学生や日本人のアルバイト・パートより長時間の労働が可能です。

❹ 日本語でコミュニケーションができ、即戦力となる人材の確保

日本語力は技能実習３年で日本での経験がある人、または日本語能力試験Ｎ４（日常会話）レベルで、更に一定の専門性・技能を身に着けた人材の確保ができます。

❺ アジアのパワフルな人材の雇用

東南アジアを中心とした活気ある若者が、特定技能を希望しています。彼らは手先が器用な人も多く、スピード面でもコスト面でも効率的に雇い入れることができます。

以上が特定技能を雇い入れた場合のメリットです。

初めて外国人材を雇用する不安もあると思いますが、特定技能１号では一定の要件をクリアし「支援業務」を担う『登録支援機関』（法人／個人）がありますので、支援を委託することができます。『登録支援機関』のサポートにつきましては、次でご説明いたします。

特定技能受け入れ対象14分野

枠内：所管省庁　❶～⑭：特定産業分野名　**太字**：2021年9月特定技能1号在留人数　（）内：分野毎5年間受け入れ上限数

厚生労働省

❶介護

3,947人（60,000人）

❷ビルクリーニング

487人（37,000人）

経済産業省

❸素形材産業

2,496人（21,500人）

❹産業機械製造業

3,180人（5,250人）

❺電気・電子情報関連産業

1,715人（4,700人）

国土交通省

❻建設

3,745人（40,000人）

❼造船・舶用工業

1,052人（13,000人）

❽自動車整備

466人（7,000人）

❾航空

35人（2,200人）

❿宿泊

121人（22,000人）

農林水産省

⓫農業

5,040人（36,500人）

⓬漁業

478人（9,000人）

⓭飲食料品製造業

13,826人（34,000人）

⓮外食業

1,749人（53,000人）

受け入れ機関が行う支援内容【資料】

❶事前ガイダンス
雇用契約書締結後、入管に書類を提出する前に労働条件や活動内容等について、対面やテレビ電話で説明

❷出入国する際の送迎
・入国時：空港等と事業所または住居への送迎
・帰国時：空港の保安検査場までの送迎・同行

❸住居確保・生活に必要な契約支援
・連帯保証人になる、社宅を提供する等
・銀行口座開設等ライフラインの契約の案内や補助

❹生活オリエンテーション
日本のルールやマナー、公共機関の利用方法、災害時の対応等を説明

❺公的手続きへの同行
居住地・社会保障・税など手続きの同行、書類作成の補助

❻日本語学習の機会の提供
日本語教室の入学案内、日本語学習教材の情報提供等

❼相談・苦情への対応
職場や生活上の相談・苦情等について外国人が理解できる言語で対応。内容に応じた必要な助言・指導

❽日本人との交流促進
自治会等の地域住民との交流の場や、地域のお祭りなどの行事の案内や、参加の補助等

❾転職支援（人員整理の場合）
受け入れ側の都合により契約解除する場合の転職先を探す手伝い

❿定期的な面談・行政機関への通報
支援責任者等が外国人及びその上司と定期的（3ヶ月に1回以上）に面談。労働基準法違反があれば通報

特定技能の申請について

外国人が海外から特定技能の申請をする場合、「日本語能力試験」と「希望する職種の技能試験」に合格する必要があります。

一方、技能実習2号を良好に修了した外国人は、前述の試験は免除され、特定技能に比較的スムーズに移行することができます。しかし、技能実習と異なる職種を希望する場合は、技能試験を受ける必要があります。

外国人を受け入れる機関もクリアすべき項目が様々あります。

まずはじめに、外国人が従事する業務が14分野の業務区分に当てはまるか、確認が必要です。これは出入国在留管理庁や外務省のホームページでご確認いただけます。

職種の該当以外にも分野ごとに必要な手続きがあり、例えば、産業機械製造業分野は特定技能の申請前に、経済産業省が組織する協議・連絡会の構成員にならなければなりません。審査には時間がかかり、すぐに構成員になれるわけではありませんので、余裕をもって手続きをすることをおすすめします。この分野ごとの手続きは、現在も見直しが重ねられているため、分野を所管している行政機関に確認が必要となります。

次に、受け入れる機関は、主に外国人が日本で円滑に社会生活と日常生活を行えるための支援体制を整えていく必要があります。

日本に在留する外国人材は年々増えており、それに伴い、不当な労働環境を強いる企業の増加や人権侵害、不法滞在など、多種多様な問題が発生しています。そのため、外国人に対する支援は重要な要素として、特定技能制度では考えられています。

支援内容は【資料】の通り10項目あり、受け入れる機関は全て行う必要があります。

また、支援する体制についても要件があり、例えば「外国人が十分理解できる言語で支援を実施することができる体制を有していること」や「支援責任者および支援担当者が、支援計画の中立な実施を行うことができること」が求められます。

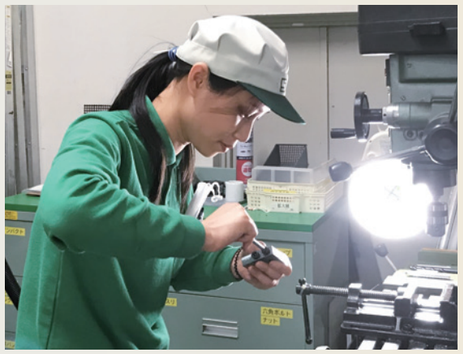
後述の内容について、中立な実施ができる人物とは、外国人と異なる部署の職員であるなど、外国人へ指揮命令権を有しない者を言います。この人物が、外国人とその監督をする者に対して定期的な面談を実施する必要がありますので、人数が少ない企業にとってはなかなか難しいことかもしれません。

しかし、支援の全部または一部の実施は他者に委託することができます。受け入れ機関は出入国在留管理庁長官の登録を受けている「登録支援機関」と委託契約を結び、支援を全部委託した場合、支援体制は満たしているものとされます。

つまり、支援体制を整えることが難しい企業は「登録支援機関」を活用することで、スムーズに特定技能外国人を受け入れることができるといえます。

「登録支援機関」は出入国在留管理庁のホームページでご確認いただけます。

今後、在留資格「特定技能」を持つ外国人は増加していくと考えられます。外国人材の活用が日本の発展に欠かせないものとなり、日本人と外国人の共生社会を模索していく必要があるのではないでしょうか。



協同組合経営情報サービス
国際事業部
TEL:06-6393-8889 http://www.kjs.or.jp/

「人をたてれば蔵がたつ」で起業

温泉のように体が芯から温まり、血流がよくなる重炭酸入浴剤〝HOT TAB〟。冷え症、肩こり、腰痛、肌荒れなどに効くと話題になり、多くのメディアに取り上げられています。開発者で製造販売会社の代表取締役でもある小星重治さんはコニカミノルタで数々の科学技術を開発し、紫綬褒章を受章した経歴をお持ちです。同社を退任後に手掛けたヒット商品〝HOT TAB〟の開発秘話や企業経営のこだわりを語っていただきました。

企業理念はNUCSS

〝HOT TAB〟は私が開発した重炭酸入浴剤です。2011年に商品化し株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレットを設立しました。弊社の企業理念はNUCSSです。これは「Not using chemical soap and chemical shampoo」の略で「世界の入浴から化学物質を一掃したい」という願いを込めたものです。自然素材の入浴剤で自己免疫力を高め、かつ老化も防止する次世代健康入浴法を世界のスタンダードにし、生活習慣病の無い誰でも100歳まで元気に生活できる健康社会をつくりたいと考えています。

界面活性剤、塩素殺菌剤、防腐剤などの化学物質をナクス（無くす）ことで真の健康をつくる。そして石鹸、シャンプー、コンディショナー、保湿クリームなどを使わなくても、この入浴剤だけでOKという新発想の入浴健康法の提案です。この根底には古代ギリシアの医聖・ヒポクラテスの「人は自然から遠ざかるほど病気に近づく」という考え方があります。かつて人は自然な水で体を洗い清めていました。ところが戦後、水道水に高濃度の塩素殺菌剤が添加され、化学物質満載の入浴剤などが使われるようになりました。その結果、界面活性剤が肌のバリア機能を低下させ、化学物質が経皮吸収されやすくなったことから、病気になりやすくなったと確信しています。

この湯を日本に持ち帰る

日本の健康を守りたい。そう思ったのは25年ほど前にコニカ（当時）で働いていた頃、ドイツに錠剤工場建設の責任者として滞在した折に温泉療養地の自然炭酸泉を体験したときのことでした。ドイツには「クアオルト」という、自治体などが病気の予防や治療に役立つ地下物質（温泉・蒸気・泥など）があることを認定した特別な地域があります。

当時は毎日夜遅くまで仕事をして疲労困憊。その状態で十数時間かかるヨーロッパ便は非常に辛いものでした。そこでクアオルトで疲れを癒すことにしたのです。3時間ほどをぬるい温泉プールで過ごしたところ一晩で疲労が抜け、その効果にびっくりしたものです。医師から「ぬるすぎると思う湯ほど体が芯から温まる」「42度以上の湯だと血流が上がらず体が温まらない」と聞かされ再び驚きました。私の研究者魂に火がついたのは、バード・クロイツェンゲンという温泉街である看板を見たときです。その看板は腰の曲がった3人の老人が、4週間の温泉療養から帰るときには腰がピンと伸び、杖を捨てて帰る姿がモチーフになっていました。まさしく若返りの湯です。「これを日本に持ち帰りたい。この湯があればみんなが若返るはず。定年後の社会への恩返しはこれだ」と決心したのです。

「日本の健康つくりに役立ちたい」という想いは、1999年に紫綬褒章を受章し天皇（現 上皇）陛下に拝謁したときに感激して決意したものでした。

画期的な入浴剤〝HOT TAB〟

早速日本で市販されていた炭酸入浴剤を試してみたところ、ドイツの自然炭酸泉のような温まる効果はまったく感じられませんでした。ドイツの温泉のpHを測ると6.6～6.9と中性です。日本の入浴剤は酸性で炭酸ガス濃度を重視したものですが、ドイツの著名な湯はすべて中性でした。血液も7.4と中性です。酸性の炭酸ガス入浴剤では温まらない医学的な理由がこのときに判明し、中性重炭酸入浴剤の構想ができ上がったのです。

炭酸泉だから炭酸ガスが有効成分だと思っていましたが、地中で噴き出す炭酸ガスが地下水に溶解し、それにより中和された重炭酸イオンが何より重要だったのです。重炭酸イオンが血管に吸収されると、血管内皮からNO（一酸化窒素）が分泌されて血管が拡張し、血流がよくなり体が温まります。体温が上がるから免疫力も上がります。

このような経緯で、石鹸やシャンプーがいらない重炭酸入浴剤をつくろうと決意したのです。〝HOT TAB〟は高い洗浄力を持つ重曹（炭酸水素ナトリウム）とクエン酸を湯の中で発泡させ、重炭酸イオンと水素イオンに中和させて湯に溶け込ませます。こうして従来の炭酸入浴剤とは違う重炭酸イオンの入浴剤が完成しました。

〝HOT TAB〟錠剤をお風呂に入れるだけ。石鹸やシャンプーを使わず、お風呂に寝ているだけで汚れが落ちて健康につながります。長く浸かるほど効果を発揮するので、できれば30分ゆったりと入浴していただきたい。成分は中性で無香料・無着色、塩素も瞬間中和してカットするので、赤ちゃんや肌の弱い方にも優しい入浴剤です。2012年1月に発売以来、女優やトップアスリートが利用して話題になり、愛用者がどんどん増えています。

株式会社ホットタブ
株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット
代表取締役
小星（こぼし） 重治（しげはる） 氏

1944年神奈川県相模原市生まれ　1962年小西六写真工業（現・コニカミノルタ株式会社）株式会社に入社し、顔写真付きIDカード、水洗処理不要のミニラボ技術などを開発　2006年画像管理ソフト開発を目的としたホットアルバムコム株式会社を設立　2011年中性重炭酸イオン入浴剤を取り扱う株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレットを設立　資源保護と公害防止への貢献などにより全国発明賞、科学技術庁長官賞を受賞　紫綬褒章を受章

人をたてれば蔵がたつ

ドイツで自然炭酸泉に出会ってから発売まで20年以上かかりました。途中でデジタル関係の写真を救う仕事で長い間中断したこともあり、商品化するまで大変な日数を要しました。

まず、重曹とクエン酸を錠剤化しようとしたのですが固形化が難しく、何度やっても包材の中で発泡してしまい失敗の連続でした。その頃、写真業界の将来が厳しくなり、フィルムに代わる新しいビジネスを考えないといけない時期を迎えていました。当時はメーカーによってデジタルデータの保存方法が違い、使い勝手が悪かったので、誰でも簡単に使える画像管理ソフトを開発しようと2006年にコニカミノルタの特別顧問を退任し、ホットアルバムコムという会社を設立し62歳で起業したのです。ところが、2008年頃からスティーブ・ジョブズがiTunes、iPhoto、iPhoneを次々に発表し、クラウド型サービスが始まりました。私が目指したシステムは完全に葬られ、定年後の全財産をデジタル写真事業に注ぎ込んでいた私は、大きな負債を抱えることになりました。

自殺も頭をよぎるくらいでした。そんなとき近所の教会に初めてお参りしたのです。ここは父親が通っていたところで、世のため人のため、私を生かしてくださいと祈ったのですが、そのとき神殿の両側にある灯明の溶けた蝋が下に流れず、龍の髭のように円を描いて固まったのです。教会長さんに「これは吉兆だ」と言われ、不思議なこともあるものだと思いながら展示会に向かったのですが、そこでかつて一緒に仕事をしたミニラボの元常務と会い、「お願いがある」と言われたのです。それは「重曹とクエン酸を固めてほしい。写真錠剤の開発者である小星さんならできる」という、天啓としか思えない言葉でした。ここで思い出したのが、重曹とクエン酸が固まらず断念していた入浴剤。同時に「陛下に拝謁したときに心に誓ったのは健康づくりでの恩返しだった」という想いが蘇りました。長年携わった写真技術で社会に恩返しをと思っていたのですが、健康に役立つ入浴剤の開発に再度挑戦しようと方向転換したのです。

この一件は神様からの導きだと思うと同時に、父から教えられた「人をたてれば蔵がたつ」という言葉を思い出しました。コニカミノルタ時代から、常に誰かのために技術開発を進めてきました。その結果数々の賞をいただき、起業した会社は現在100億円企業を目指す急成長にあり、感謝しきれない思いです。知識や技術だけでは成功はあり得ません。国のため、人のためという思いがあるから神様の応援もあるのだと思います。

専門家との共同研究

神頼みだけでは事業は成功しません。ヘルスケアにはエビデンスが重要です。入浴と免疫との関係を学ぶため、2009年に新潟大学の安保徹教授を訪ねました。自律神経や体温と免疫の関係について勉強し、先生と協力して生活習慣病急増の原因を調べたり、入浴実験などを続けました。その結果辿り着いたのが、最初に挙げた肌バリアの低下と化学ストレスによる「血流の低下＝体の冷え」です。冷えが続くと生活習慣病の元になる、これはヒポクラテスの「自然から遠ざかれば病気に近づく」という教えそのものです。

2021年11月にはイギリスの学術誌『Nature』の姉妹誌『Scientific Reports』に、鶴見大学・斎藤一郎教授らとの共同研究をまとめた論文が掲載されました。これは重炭酸イオンの効果に関するもので、動物や培養細胞で血管内皮でのNO（一酸化窒素）産生が促されて血流が促進したり、ヒトの試験では体温が上昇して睡眠の質が改善されたりするなど、循環器の病気などへの有効性が示唆されています。

NOは体内で発生する健康ホルモンで、血管を若々しく保つ働きがあります。NOが十分につくられていれば、血管のしなやかさが維持され動脈硬化の予防に役立つとされています。動脈硬化とは血管が硬くなり、切れたり詰まりやすくなった状態のことで、放置すると脳卒中や心筋梗塞をもたらします。斎藤先生の研究によると、重炭酸イオン入りのお湯はふつうのお湯に比べて数倍のNO発生効果があると言います。重炭酸温浴で体の温まる効果をより強く感じるのは、NOの働きで血管が拡張して血液循環がよくなるからでしょう。NOは「血管を若返らせる天然の薬」とも言われ、その研究は1998年のノーベル生理学医学賞を受賞しました。

クアパーク長湯で四方よし

2019年6月には、大分県竹田市にドイツのクアオルトにならった温泉療養複合施設「クアパーク長湯」をオープンしました。長湯温泉は、妻と一緒にドイツの自然炭酸泉に近い湯はないかと探し歩いた末に辿り着いた湯です。日本で希少な高濃度の自然炭酸泉を備えた「クアパーク長湯」は、往復100mの歩行湯、露天風呂、温泉プール、サウナ、飲泉所などのほか、半露天浴室付きコテージ、地元農家から仕入れた野菜が食べられるレストランも併設されています。世界的建築家の坂茂氏による、木をふんだんに使った設計は自然と一体になった居心地のいい空間で、1週間以上の滞在で医療費控除が受けられる厚生労働省認定の健康施設でもあります。

訪れた方からは「体の芯から温かくなった」「長く入っていても疲れない」など嬉しい感想をいただき、私のモットーである「四方よし」になったと喜んでいます。「四方よし」とは近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よしに「天地よし（神様が見ている）」を加えたものです。来訪者は温泉に癒され、地域が活性化して会社に利益が出て、さらに重炭酸温浴の魅力が全国に伝われば、本当によいことばかりです。

重炭酸温浴で医療費削減

日本の年金や医療費などの社会保障費は120兆円を超え、財政赤字が1200兆円と破綻寸前です。高齢者が介護知らずで100歳まで元気に暮らすことができれば、そして10年後に80歳定年制が実現できれば、年間30兆円程度の社会保障費削減が可能になります。そうなれば50年程度で財政赤字が健全化でき、世界がうらやむ、健康長寿で財政も健全な超高齢化社会ができ上がるでしょう。これこそ陛下への、そして日本への恩返しと思い現在の会社を起業しました。

肌は外界と接している免疫組織であり、吸収組織でもあり、脳ともつながっている大切な臓器です。お風呂のお湯は飲み物以上に化学物質を入れてはいけない。私はそう考えています。何より重炭酸温浴の効果は私自身が実感しています。〝HOT TAB〟を開発して10年、毎日朝晩40分近く入浴していますが、今年78歳でも肌はツヤツヤで10年カゼ一つ引かず、夜もぐっすりです。現在コロナ禍をかいくぐりながら全国各地を飛び歩き、休みはゴルフと50歳の頃以上に元気に活動できています。また、私の義姉は70歳で大腸がんを患い、がんが肝臓や肺に転移し数回の手術を受けました。その後〝HOT TAB〟を愛用していますが、それからがんは転移せず、現在80歳ですが元気に活動しています。

体温が上り、睡眠が深くなることだけでも、ものすごい健康効果がでます。そういう意味で重炭酸温浴は若返りや高い健康つくりの可能性を秘めています。この入浴法が日本の生活習慣病を防ぎ、皆さんの健康寿命の延伸を底上げする一助になることを願っています。

WASHING REVOLUTION NUCSS

株式会社ホットタブ
株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット
〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-12-1　パークウェスト7F
https://hottab.co.jp/

NATURAL BEAUTY & HEALTH KOBOSHI METHOD

なんか変だぞ日本のメディア

大正大学でマスコミ論の講座を担当していた時だ。「日本のメディアは“横並び報道”ばかりだ」と僕は力説した。新聞、テレビの多くが現象だけを「あった。あった」と横並びで報道している。「記者は自分の足で駆け回り、隠されている真相を暴け」。「政府や役所が発表することに多少の味付けをして報道するなんてやめろ」。受講していた72人の学生たちは僕の熱弁にビックリしていた。

あれから12年。メディアのレベルはもっと下がっている。家にいる時、僕はテレビをつけっぱなしだ。ニュースや報道番組をフォローし、どの局も横並び報道で独自性に欠けると思っている。TBSの報道特集くらいがジャーナリズムと感じるが、「なんでこんなにも同じ出来事を集中報道するのだ」とあきれ果ててしまう。コロナはグローバル化によって世界中がパンデミック。大きなニュースではある。かなりの時間を使って報道するのは構わない。ところが「今日は7万人が感染しました。とうとう9万人を超えました」とか、ただ恐怖感をあおる。他の大事なニュースは無視されている。

巨大竜巻、洪水、山火事、豪雨は多くの犠牲者を生んでいるのに気候変動との関係に迫っていない。南北格差や貧困の問題はほとんどスルーされている。コロナ禍はもっとも弱い人々を苦しめている。アルバイトや非正規の人たちが解雇され、自殺に追い込まれていることに関するレポートは少ない。子どもの7人に1人が貧困家庭で満足な食事を摂れていない。市民たちの子ども食堂は増えているのだから、もっと取り上げるべきだ。

大学時代の美術サークルで絵を描いていた仲間の弘中惇一郎弁護士が「生涯弁護人」事件ファイル1と2（講談社刊）を昨年暮れに贈呈してくれた。検察による前代未聞の証拠改竄などで164日間も身柄を拘束された厚生労働省のキャリア、村木厚子さんの裁判で無罪を勝ち取った弁護士。海外に逃亡したカルロス・ゴーン氏の弁護を引き受けていたことでも有名。本人はそう呼ばれるのは好きでないというが「無罪請負人」という異名がつくほど、小澤一郎氏への国策捜査などで無罪判決を得たのは数限りない。彼の本を読み、正義感を貫いた人生を知った。現場を繰り返し歩き、関係者の証言を集め、検察のストリーの矛盾を突いて行く。「メディアが疎かにしていることをして、真実に迫っている」と感動した。

畏友、弘中惇一郎弁護士の著作は迫力満点。
記者達が学ぶところが多い。

何がなんでも有罪にしようという特捜部の「自白の強要」。筋書に合わせる「シナリオ尋問」。長く拘留する「人質司法」。都合の良いことだけを、さりげなく記者に漏らしての世論の誘導。特ダネ競争に明け暮れていた僕としては、「抜いた。抜かれた」という次元の低さを指摘されたと感じた。そして「この生涯弁護人という本をジャーナリストを目指す若者の必読書にしたい」と思った。ではなぜメディアのレベルが低下しているのだろう。メディアの記者達は会社の求めるよう働くことに真面目過ぎる。日々、出席原稿をこまめに書く記者が評価される。

僕がワシントン特派員の時の1983年にレーガン大統領がカリブ海の小さな社会主義国グレナダに軍事侵攻。空母機動部隊が集結し、落下傘部隊がグレナダを制圧した。武力で他国を占領することに世界中で批判が高まった。交通も通信も途絶しているグレナダを取材しようと世界中の記者が隣のバルバドスに集まった。米軍のC130輸送機に乗せてもらってグレナダ入りしたいと、記者達は広報担当の大尉に迫った。最初にグレナダに連れて行かれたのは米テレビ局で、次の日は世界のテレビ局。米軍の案内で、弾薬庫で「こんなに武器を貯めこんでいる」という映像を撮り、ポイントサリンズ空港では「小さな国に不釣り合いな大空港は米本土を攻撃できる戦略爆撃機が飛べるようにするためだ」と説明された。空港建設のためのキューバ人労働者はキューバ兵として撮影された。キューバ危機の記憶が甦り、武力侵攻は当然という雰囲気に世論が変わった。米政府の世論操作は大成功。なぜ新聞社が後回しにされたかというと、テレビは映像中心だが、新聞は余分なことを書くから。ワシントンポスト紙などは自前の舟をチャーターする努力の一方、C130に乗れたのは3日目。外国人記者は4日目にやっとグレナダ入り。

その日から「命の保障はしないが、泊まり込んでも良い」と許可が出た。ところが僕以外の日本人記者は数時間の取材をするとC130に戻ってバルバドスへ。「本紙記者、グレナダ入り」という記事が麗々しく紙面を飾った。確かに通信途絶のグレナダからは原稿は送れない。「でもグレナダにやっと入ったという記事に何の意味があるの?」と、そんなアリバイ原稿は捨て、僕は取材に駆け回った。

焼け落ちた官邸の首相執務室のガレキからビショップ首相のレーガン大統領宛の手紙の副本を見つけた。グレナダの歴史と社会主義革命、そして今はビショップ首相がクーデターで行方不明になっていることなど山のように取材した。「世界」（1984年1月号）の「グレナダ報道と真実」に早大の先生が「毎日新聞の記事が白眉であった。他のメディアは足元にも及ばないほど深い、良い取材をしている」と絶賛してくれた。

グレナダ入りするために乗り込んだ
米軍のC130輸送機の内部。端の赤い座席を広げ、座る。
真ん中に立つ筆者、中島健一郎氏

スペースシャトルの2回目の打ち上げを
ケネディ宇宙センター（フロリダ州）で取材。
ワシントン記者時代の筆者、中島健一郎氏（手前）

メディアの現状をみると、忖度報道は論外として浅薄な取材が多い。出稿をせかすデスク、他社の報道と並んでおれば良し、とする編集幹部の問題が大きい。記者は自由気ままである方が良い。素直な記者が増えているのが真相に迫らないメディアの現状に繋がっていると思う。

ジャーナリスト
中島 健一郎（なかじま けんいちろう）氏

1944年東京生まれ　東京大学卒業後毎日新聞社に入社。毎日新聞の社会部で警視庁、警察庁、国税庁を担当する他、調査報道を行い、外信部ではワシントン特派員、ワシントン支局長として国際報道に携わる　オウム真理教事件の時の社会部長。英文毎日局長、事業本部長を経て事業担当常務2006年に退任後は大正大学の客員教授を５年間務めた他、房総半島で新しい生き方を追求するミュアヘッドフィールズ土太郎村作りに関わっている

インフォメーションネットワークグループ機関誌
ING［インク］2022 vol. 26
発行日：2022（令和4）年3月25日　発行元：一般社団法人国際情報普及協会　住所：東京都港区新橋5－12－1 霞月町ビル4階　電話番号：03－3434－6203

春の新茶フェアー

予約期間
4/1 ～ 4/25

◎ご注文お問合せはこちらまで
0120-37-7887

新茶 荒茶風煎茶 350g
通常価格 1,500 円のところ
一番人気　特別価格 **1,400円**（税込）

- ご予約時に、広告をご覧になった旨をお伝えください。
- **5 月 5 日頃の発送**となります。（天候等により発送日が遅れる場合がございます）
- 上記期間内のご予約で、「新茶 荒茶風煎茶 350 g」のみ割引対象となります。
- 数に限りがあり、品切れとなる場合もございます。予めご了承ください。
- 送料は**全国一律 700 円（税別）**　★6,000 円（税別）以上のお買い上げで、1 カ所送料無料
  ※北海道・沖縄・離島は別料金となります。

その他商品情報は、下記サイトよりご確認ください。
http://hitokoto.shop-pro.jp/

HITOKOTO
JAPANESE TEA

カネイ一言製茶株式会社
KANEI HITOKOTO
"JAPANESE TEA"
SINCE 1865
創業慶応元年　静岡茶業界

カネイ一言製茶株式会社
〒427-0019 静岡県島田市道悦1-1-9